

## 過剰防衛とそのリスク

先日、地元の森林公園に散歩に出かけました。森の中を抜ける歩道にはほとんど人がいなく、一時間で数名の人とすれ違いましたが、ほとんど全員がマスクを着けていました。こんな森の中でマスクを着けている意味は全くありませんし、かえって害になります。もちろん人が密集している繁華街や駅の構内、デパートなどでは私もマスクを着けます。しかしそれ以外の場所では外しています。新型コロナは空気感染です。三密と換気の悪い場所では要注意ですが、それ以外の場所で感染することはまずありません。ウイルスは細胞の中でだけ増えますが外に出ると時間と共に死んでいきます。手すりやドアノブや現金に生きたウイルスがついていることはありません。もし現金についていけば世界中の銀行でクラスターが発生するはずですが、テーブルやカウンターの上にも生きたウイルスはいません。感染している人が咳をして飛沫が霧のように空間を飛んでいるコンピューターの画像が有名ですが、あの沢山の飛沫の中に生きているウイルスはせいぜい2~3個です。これでは人とすれ違って感染することは困難です。感染するにはその数十倍から数百倍のウイルスが必要です。ただし、感染した人と密室に長時間居ればもちろん危険です。

長時間マスクを着けて、身の回りの物をアルコールで消毒する生活は細菌やウイルスとの接触がないので、免疫が学習する機会を奪われ、免疫力の低下を招き、かえって危険です。

長時間のマスク生活は酸素の欠乏と二酸化炭素の蓄積が起こります。ですから疲労しやすく、健康への害は計り知れません。ドイツでの調査では子供の半数以上に頭痛、集中力の低下、めまい、眠気がみられ、脳の酸素不足が継続すると神経の損傷が進み、知能指数の低下や学習障害が起こります。成長期の子供は特に酸素が必要ですから、影響は甚大です。子供へのマスクの着用は慎重であるべきです。とくに、幼稚園児や低学年の子供へのマスクは必要ないと思います。手洗いも水と石鹸だけで十分です。アルコールや消毒薬の使用は過剰であるばかりではなく、免疫の低下を招き、風邪をひきやすく感染に弱い軟弱な子供をたくさん作ることでしょう。それは勉強しない大人の責任です。